

大阪は「まち」がほんまにおもしろい



妖怪〈ぬえ〉が眠るまち・都島

～鬼退治の勇将・渡辺綱伝説から鶴塚まで～

大江山の酒吞童子退治や、京都の一条戻り橋で羅生門の鬼の腕を切り落とした勇将・渡辺綱が愛馬を繋いだ「駒つなぎの榎」に、天皇を苦しめていた鶴の遺骸が流れ着いたという伝承を持つ「鶴塚」などを巡ります。いざ、摩訶不思議な都島妖怪譚の世界へ！

① 都島区 .com 事務所

都島在住の主婦が運営している都島区ポータルサイト「都島区.com」(<http://www.miyakojimaku.com>)の事務所。地域密着ならではのレアな情報が満載！

② 都島神社

旧・沢上江村(または津上江村)の鎮守社で、平安後期、後白河法皇が生母・待賢門院(たいけんもんいん)の菩提寺・母恩寺に行幸したときに、鎮護の神社として創建されたと伝えられています。天照大神・応神天皇・宇賀御魂神など十五もの神を合祀したので「十五神社」と称していましたが、のちに「都島神社」と改称しました。境内に嘉元2年(1304年)銘の石造三重宝篋印塔(ほうきょういんとう)があって、大阪市内最古の石造遺物として、大阪府の有形文化財に指定されています。

③ 母恩寺

仁安3年(1168)、後白河法皇が高野山行幸の折に、風光明媚な淀川沿岸の景色を好まれて、生母・待賢門院の供養のために創建しました。寺宝として後白河法皇と待賢門院の画像などがあります。浄土宗の尼寺として代々皇女が住持を勤め、南東約500mのところ「鶴塚」がありますが、かつてはそこも境内で、多くの荘園と伽藍を有する大寺院でした。残念ながら相次ぐ淀川の氾濫や戦乱のために衰微しました。「摂陽群談」によれば、本尊の阿弥陀仏は恵心僧都の作で、尼僧が作る美しい綿帽子は「津上江の綿帽子」として名物になっていたといわれています。

④ 渡辺綱・駒つなぎの榎

かつてこのあたりは善源寺荘と呼ばれ、大江山の酒吞童子退治で有名な源頼光が支配する荘園でした。長徳年間(995～998)に武神・八幡大神を祀ったさいに頼光自らが榎(クスノキ)を植えて、家来の渡辺綱は、必ず榎に馬をつないで参詣したので「駒つなぎの榎」と呼ばれました。樹齢900年、周囲約12メートル、高さ約30メートルもの大榎で、昭和初期には大阪府の天然記念物第1号に指定されましたが、残念ながら戦災によって枯死。しかし枯死しても倒れずに立ち続けて、現在でも多くの地元住民の崇敬を集めています。

⑤ 株式会社ミルボン 中央研究所

日本でも有数のプロの美容師さんが持っている最先端の技術(パーマ・ヘアカラー・スタイリング等)を解析し、得られたノウハウを基に商品を開発していく独自の戦略によって、日本中の美容師さんから最も信頼されるヘア化粧品業界のNo.1メーカー。ミルボン中央研究所から発信するトレンド情報は、都島から日本全国へと波及し、美容業界全体の成長を支えています。

⑥ 富久屋

1952年都島で開業。「母恩寺」「馬馬の水門」「青湾」「櫻の宮の櫻」など、都島の名所・旧跡にちなんだ和菓子が都島みやげとして人気です。とくに「蕪村もなか」はオススメ！(<http://www.wagashi.org/fukuya/>)

⑦ 河合刷毛ブラシ工業

創業安政3年(1856)の老舗で、知る人ぞ知る刷毛ブラシの専門店。刷毛・ブラシ・書道筆など、こだわりの逸品からデイリーなものまでなんでも揃います。とくに「なにわ刷毛」は大阪府知事指定伝統工芸品にも指定されています。インターネット販売(<http://www.e-hake.com/>)でも日本全国にコアなファンを持っています。

⑧ 農業用水門

かつて都島一帯は田園が広がって、井路川と呼ばれる農業水路が淀川から寝屋川方向に幾筋も流れていました。水門は水量を調整する施設で、洪水の防御など必要に応じて開閉していました。この水門は、都島が淀川の恵みを受ける、ゆたかな田園地帯であったことの象徴として、近くの旧家に残されていたものを昭和49年に都島本通交差点の緑地帯に整備復元したものです。

⑨ 鶴塚

平安末期に、御所に毎晩のように黒煙とともに不気味な鳴き声が響き渡って、帝が恐怖のあまりに病に伏せるという奇怪な出来事がありました。そこで弓の名人・源頼政が、妖怪退治で有名な先祖・源頼光より受け継いだ弓で待ち伏せて、いつものように不気味な黒煙が覆い始めたときに矢を射ると、悲鳴とともに何か地上に落ちました。近づくサル顔、タヌキの胴体、トラの手足、ヘビの尾で「ヒョーヒョー」という気味の悪い声で鳴く妖怪「鶴」(ぬえ)で、頼政の家来が取り押さえて、とどめを差しました。鶴の遺骸は京都から淀川下流に流されて、この地にたどり着き、祟りを恐れた村人たちは母恩寺住職に吊ってもらい、鶴塚を立てました。明治時代に鶴塚を取り壊されかけましたが、鶴の怨霊が地元住人を悩ませて、慌てて塚が修復されたという伝承もあります。また、鶴は大阪の水辺と縁が深く、人智を超えた力のある存在として、港を支える役目を担ってもらおうと現在、大阪港の紋章デザインモチーフとして使われています。



【注意事項】この地図は「大阪あそ歩」のまち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。

【お問い合わせ】大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局 電話06-6282-5930 (財団法人大阪観光コンベンション協会内) 「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。 <http://www.osaka-asobo.jp> または「大阪あそ歩」でネット検索を。

大阪あそ歩のコースは約2km、2時間程度を基準として作成されています。